

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月			
平成15年度	事業コード	16130	電話	042(769)8202
担当部課名	企画部	文化国際課	課	
事務事業名	銀河連邦サガミハラ共和国（宇宙学校の開催）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 6 章	彩りのある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	多彩な市民文化の振興	63以前年度
施策名	第 3 施策	多彩な文化交流の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

なし

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
銀河連邦サガミハラ共和国は、文部科学省宇宙科学研究所の研究施設がある3市2町により構成されている。昭和62年に建国以来、他共和国と相互に人的交流、経済交流、スポーツ交流、教育交流等を行い、地域間のコミュニティの醸成・活性化や広域的な文化交流を行っている。「宇宙学校」は市内にある文部科学省宇宙科学研究所との協力により、宇宙科学知識の普及・啓発と意識向上のために市民を対象として毎年開催している。	市民 対象数 616,000
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
「宇宙学校の開催」 宇宙学校の開催について宇宙科学研究所と協力し、会場設定、市民への周知のための情報提供・広報、当日の運営等を行った。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	参加達成率	各年度の参加者数/11年度の参加者数(×100)	平成11年度を基準とし、その比較により参加率を表す。	50	83	115	115	115
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	2人(18H)	2人(18H)	2人(18H)	2人(18H)	2人(18H)
	人件費	75	75	75	75	75
	その他経費					
	合計	242	171	247	267	267
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	607,000	612,000	616,000	616,000	616,000
	対象の単位あたり経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	成果指標の基準とした平成11年度までは日曜日の開催だったが、平成12年度から学校週5日制を受けて、土曜日に変更したため、当初は参加率が低かった。しかし、徐々に定着してきており、参加人数も増加してきている。
(2)必要性 評価 B ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		宇宙科学への意識向上と学習援助ということで、毎回参加者からの質問が多く寄せられる。また、宇宙科学少年団相模原分団など、市民が主体の青少年活動も広がっている。
		説明	
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	必要経費については、宇宙研と共催のため、市は会場使用料等の負担のみであり、開催に関わる講師経費等は宇宙研が負担している。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	広く市民に情報を流し、自由参加を求めている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	説明: 平成12年度から学校週5日制に伴い、子どもの参加も考えて土曜日開催としたが、実際は殆どが大人の参加者である。開催日や周知方法について考慮することで、参加者層を広げることができると思われる。	手段	前日準備の時間や使用する会場を検討することにより、会場使用料の削減が見込まれる
<input type="checkbox"/> ない		削減額	10 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		宇宙学校は、相模原市以外に地方都市でも開催しており、平成13年度は徳島県立あすたむらんど子ども科学館で開催された。しかし、地域の中での宇宙科学研究所の知名度や意識が低いことから、PR等に252,000円の経費をかけ、実際の入場者は約500名であった。相模原市では、宇宙科学研究所の一般開放等もあり、ある程度知名度もあることから、PRについては、宇宙研作成のチラシや市広報、市内施設でのPR等、経費負担はしていない。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	相模原に所在する宇宙科学研究所との共催ということで、企画・運営や会場設定、PR、経費等について、それぞれが役割分担をし、人員・経費を抑えて開催している。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--